



## 学生(九州大学芸術工学部)×銀行×IT 起業×商店街=「キャッシュレス」のデザイン

西日本フィナンシャルホールディングス・西日本新聞社・LINE Fukuoka 他と共創問題解決授業(3回目)

九州大学芸術工学部工業設計学科と大学院芸術工学府の授業で、学生とステークホルダー<sup>※</sup>が共創して問題発見や問題解決を行う授業を、10月より Fukuoka Growth Next (旧大名小学校)の株式会社西日本フィナンシャルホールディング(FH) チームルームや、本学大橋キャンパスで行います。(10/9~1/29)

福岡市が進める「キャッシュレス」により、新しい産業や可能性、また課題や問題も見え始めています。様々な問題を、経験や文化が異なる学生、銀行員や新聞記者とITの発想や分析を生かし、実際の商店街をフィールドにして問題発見から解決案までを導いていきます。

また、そこで生まれた提案内容に対して、LINE Fukuoka 株式会社、ニモカ株式会社、PayPay 株式会社、如水グループ他と評価発表会を開催し、IT系企業から評価を受け、社会実装を目指します。

※企業・行政・NPO等の利害と行動に直接・間接的な利害関係を有する者

問題解決授業とは新しいターゲットに対して、新しい解決方法を考えながら行う授業です。

今回は、

- 1: 「キャッシュレス」により問題発見する。
- 2: 「キャッシュレス」により問題解決する。
- 3: 「キャッシュレス」により問題提議する。

を目標に、「共創」により、多様な立場の人たちと

対話しながら、新しい価値をつくり上げ、「表現」「設計」します。

そして、キャッシュレスのステークホルダーを巻き込みながら、プロジェクトを進めていきます。

今回は、西日本フィナンシャルホールディングスや西日本新聞社、商店街など販売消費の現場の方とディスカッションをしながら進めていきます。



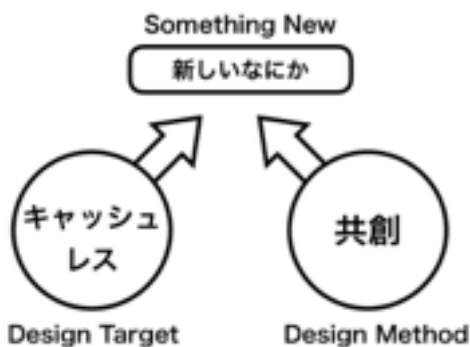
問題発見



問題解決



問題提議



### 研究者からひとこと：

様々な専門職、芸術工学学生の発見力や展開力がうまくかみ合わさって、思いもよらぬ問題発見や解決を期待しています。共創のココロをもって入れれば新しいコトエは必ず生まれます。

単なる発想だけでなく、「表現」「設計」まで行うこのような取り組みは、とても重要で、この仕組み自体が、地域の活性化やイノベーションにつながっていくと思います。

さらには社会の問題解決や企業の新しい役割に繋がります

芸術工学研究院 准教授 尾方義人

【お問い合わせ】

九州大学芸術工学研究院 准教授 尾方 義人

電話:092-553-4542, 090-6983-7679

Mail:ogata@design.kyushu-u.ac.jp

◇授業スケジュール◇

	毎週月曜 13:00~16:30	場所	
1	10/15	Fukuoka Growth Next	全体ガイダンス・基本事項講義、アイスブレイクワークショップ
2	10/22	Fukuoka Growth Next	評価協力企業による課題提供。金融・フィンテックに関わる講義。
3	10/29	Fukuoka Growth Next	運営協力企業による、キャッシュレスの現場に関わる講義。現場インタビューの方法について新聞社から
4	11/5	商店街	商店街での調査・インタビュー
5	11/12	九州大学 大橋キャンパス	学生個人ワーク 仮説形成準備
6	11/19	九州大学 大橋キャンパス	ゼミ形式での 仮説確認
7	11/26	Fukuoka Growth Next	仮説発表 評価協力企業による評価
8	12/3	商店街	商店街での意見交換
9	12/10	Fukuoka Growth Next	評価協力企業との意見交換
10	12/17	九州大学 大橋キャンパス	学生個人ワーク
11	1/7	九州大学 大橋キャンパス	ゼミ
12	1/21	Fukuoka Growth Next	発表 評価協力企業による評価
13	1/28	九州大学大橋キャンパス	ブラッシュアップ 最終提出形式検討
14	2/4	九州大学 大橋キャンパス	ブラッシュアップ 再提案

